

白根中學校・高等學校建築など 発展と飛躍する新白根町の構想

新町建設設計書なる...

白根町九ヶ村合併して、新しい大町を建設し、この大町計画はついに実現した。三年余の長きにわたって、陣痛の苦しみをなめた新白根町は、ついにこの大町計画の實現を期して、歩みを進めようとしている。これは、一日にしてならず、新白根町の建設も一朝にしてなされるものではない。住民の建設への意欲、理解と協力を、そしてたゆまざる努力なくして、多難であろう新白根町の建設は達成されなう。道は遠い。しかし、歩みを進めよう。大町建設の日まで。

合併の方針

一町八ヶ村の合併によって、新しく生まれ変わった白根町は、人口三七、一六九人、世帯数五、七三四、面積七六、二八平方町、じつに県下最大の「白根町」となった。

新町名は「白根町」、旧八ヶ村が相対して財政力を集中して健全なる地方自治体を確立し、平原野の真中に位置して地理的条件にめぐまれた地盤を以て、商業、工業等の諸産業の育成、発展、振興をはかると、この基礎の上に立って住民の福祉の増進を期することが、この合併の基本的な方針である。

この基本方針の達成をはかるため教育施設の完備、厚生施設の整備、都市計画事業の早期実施、交通道路網の整備等、住民の福祉の増進に努めて、信濃川の河川整理にもなつて工場誘致を積極的に行う等、新町の前途は多岐である。

行政関係

新白根町の役場は現白根町役場の建物を使用する。しかし、役場職員が百名を超える多きや故、現在の建物では狭すぎる。町会議場兼役場の事務室として使用されている現状なので、いづれ中心部にすみやかに新築される。

また、現各町役場に町役場支所を配置、支所名は現各町村名とする。支所では戸籍、町税納入、勸業農地問題、教育、保健衛生、配給等の事務を行うことにする。

教育関係

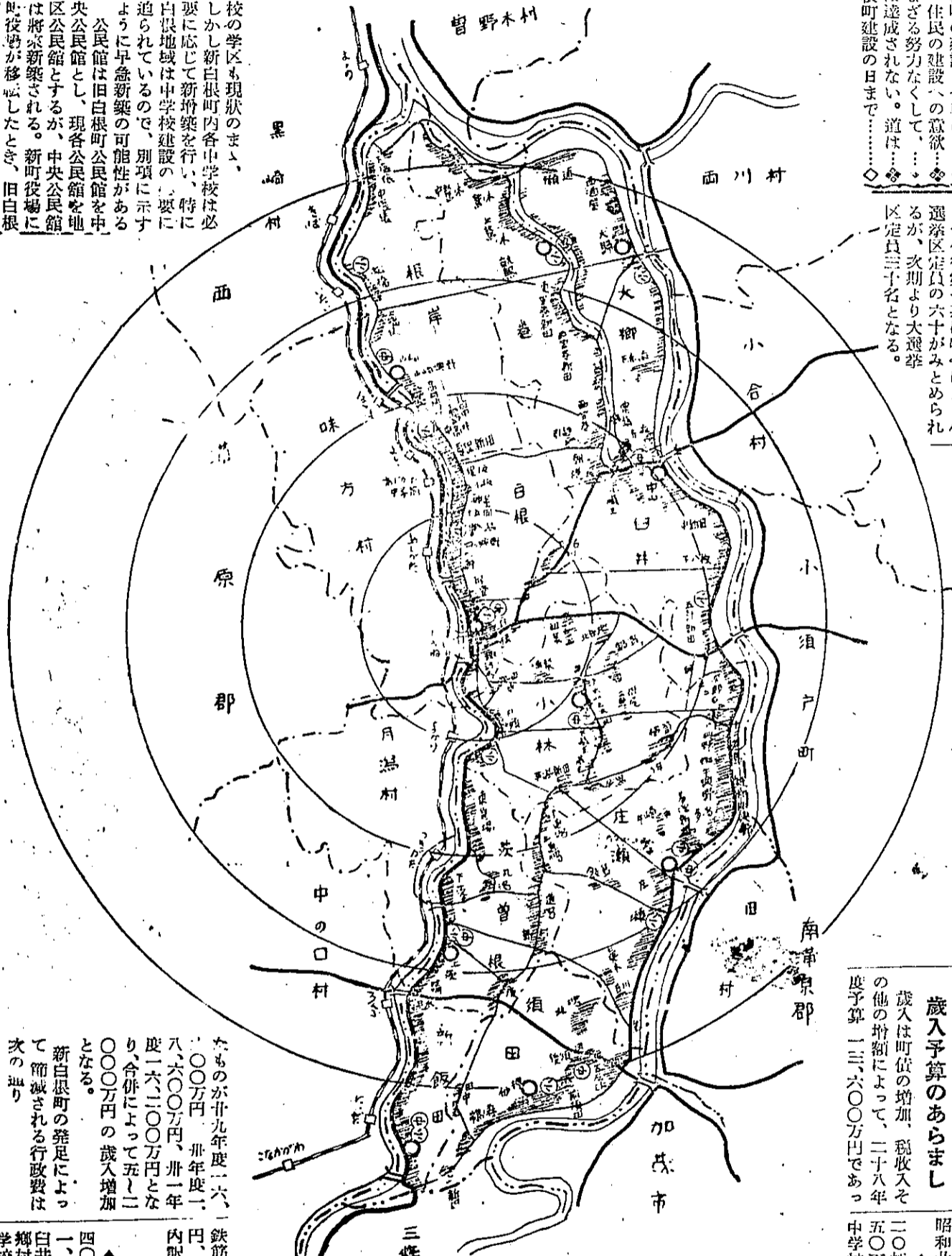
小学校の位置、学区は現状のままとし、必要に応じて整頓する。中学校の学区も現状のまま、

新町建設設計書なる...

新町	旧町
316	16
716	16
416	16
417	616
616	16
616	16
616	16
60	16

新町建設設計書なる...

合併後第一期は特令により小選挙区定員の六十がみとめられ、二期より大選挙区定員三十名となる。



厚生関係その他

町立病院の設置、現各村の診療所を強化、充実させ、大郷、猪巻、根岸、新田等に診療所を新設、白根町内の二つの伝染病院組合の隔離病舎を整備充実させる。

火葬場は統合整備して町営とし、じんがし処理場を建設、全地域にわたって保育所を建設、公営住宅を建築し、さらに現白根町に公営運動場を新設し、住民の衛生、福利、厚生施設を整備する。

計画實現への道

このように多岐にわたる大なる諸計画の實現、これは多難である。計画されたから、明日からにでも實現する。という問題につきあらなければならぬ。しかし、住民の建設への意欲と、理解と協力と、そしてたゆまざる努力によって、達成する日がくることを忘れてはならない。そして、この意欲と理解と協力こそ、大町建設への第一歩である。多難ではあるが、計画達成の日まで、コタレずに頑張ろう。そしてわれらの子、孫の世代に残して、感謝される事業を完成しよう。

歳入予算のあらまし

歳入は町債の増加、税収入その他の増額によって、二十八年度予算一三、六〇〇万円である。

新白根町事業五ヶ年計画

昭和三十九年度

昭和三十九年度	三三、〇〇〇
昭和三十九年度	三三、〇〇〇
昭和三十九年度	三三、〇〇〇
昭和三十九年度	三三、〇〇〇
昭和三十九年度	三三、〇〇〇

昭和三十九年度

昭和三十九年度	三三、〇〇〇
昭和三十九年度	三三、〇〇〇
昭和三十九年度	三三、〇〇〇
昭和三十九年度	三三、〇〇〇
昭和三十九年度	三三、〇〇〇

校の学区も現状のまま、しかし新白根町内各中学校は必要に応じて新増築を行い、特に白根地域は中学校建設の必要に迫られているので、別項に示すように早急新築の可能性が、公民館は旧白根町公民館を中央公民館とし、現各公民館を地区公民館とするが、中央公民館は将来新築される。新町役場に役場が移転したとき、旧白根町役場を転用する。この場合、白根町の公民館は以下に最も大きな、リッパな誇るべき建物となるものとおもわれる。さらに中央公民館は図書館を併設、年次計画によって内容を充実させる。そして、地区公民館の既存図書施設は現在のままとし、巡回図書によって最大の効果をおさめさせるように計画された。

要望事項

以上の諸事項が国および県に対して要望されている。白根町内の国道、県道の整備、道巾拡張、

昭和三十九年度 三三、〇〇〇
昭和三十九年度 三三、〇〇〇
昭和三十九年度 三三、〇〇〇
昭和三十九年度 三三、〇〇〇
昭和三十九年度 三三、〇〇〇

昭和三十九年度 三三、〇〇〇
昭和三十九年度 三三、〇〇〇
昭和三十九年度 三三、〇〇〇
昭和三十九年度 三三、〇〇〇
昭和三十九年度 三三、〇〇〇

昭和三十九年度 三三、〇〇〇
昭和三十九年度 三三、〇〇〇
昭和三十九年度 三三、〇〇〇
昭和三十九年度 三三、〇〇〇
昭和三十九年度 三三、〇〇〇

むすび

新町の建設設計書は雄大な構図のもとに作成された。新町のこの計画を實現するもの、それは町長ではなく、議員でもない。住民の激しい意欲と協力と理解と努力にかかっている。爲政者、立案者は住民の意思を反映して町政をつかさどるものであって、住民の意思に逆行する町政は考えられない。

白根町の運命はきまっていた。われわれはこの計画達成のために協力しよう。そして白根町、新しい運命を開拓し、前途を輝かしくものにしたい。建設への努力と、協力と、そしてたゆまざる努力に、